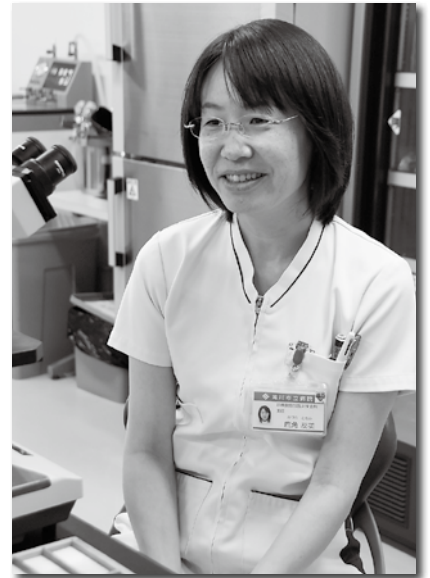


健康と病気の
豆知識



ピロリ菌検査の「尿素呼気試験」について

診療技術部 臨床検査科 ^{かつの}鹿角 友美

ピロリ菌とは、慢性胃炎、胃・十二指腸潰瘍、胃がんなどを引き起こす原因として知られる胃の粘膜に生息する細菌です。年齢が高くなるほどピロリ菌の感染率は高くなり、特に50歳以上の感染率は約70～80%と言われています。皆さんの中にも気になっている方は多いのではないのでしょうか。

ピロリ菌の感染診断検査の結果で「陽性（ピロリ菌がいる）」となった場合は、まず一次除菌を行います。一次除菌は、3～4種類の抗菌薬や胃薬などを7日間服用します。その後、偽陰性（実際には菌がいるのにいないと判定されること）を防ぐため、薬の服用後4週間以上あけてから除菌の判定を行います。ここで除菌に成功した場合は終了になりますが、除菌がされなかった場合は二次除菌を行います。二次除菌では、一次除菌で服用した抗菌薬のうち1種類を違う薬に変え、一次除菌と同様の服用期間を経て再び除菌判定をします。ここまでの治療は保険が適用されますが、もし二次除菌でも除菌されなかった場合は、三次除菌から保険適用外となり、自費での治療となりますので、先生と相談のうえ治療の継続を判断することになります。

ピロリ菌の感染診断検査には、内視鏡を用いて採取した組織を使う検査や、血液や尿を使う検査のほかに、息（呼気）を使って検査する「尿素呼気試験」という

方法があり、これらの検査の中から、医師の診断のもと患者の状態に合わせた検査方法で行います。

ちなみに、ピロリ菌の感染診断や除菌判定に多く用いられる尿素呼気試験は、検査用の薬を飲む前と後に吐き出された息（呼気）を調べてピロリ菌に感染しているかどうかを判定する検査で、精度が高く採血や内視鏡を用いないので患者さんへの負担が少ないのが特長です。

検査は、呼気を採取したのち、検査薬を1錠服用、体勢を変えて一定の時間を置いてから、再び呼気を採取するという流れで行われ、結果が出るまで3日ほどかかりますが、とても簡単な検査です。

ただし、他の治療のために服用しているお薬がある場合は、一部の抗菌薬や胃薬が尿素呼気試験の結果に影響するため、検査の2週間前から服用を休止します。また、検査前日の夜から食事や飲み物をとることもできません。これらはスムーズに、また正確に検査を受けていただくために必要なこととなりますので、受診される皆さんにはご協力をお願いしています。

また、当院では「お手軽健診」で、ピロリ菌の抗体検査を行うこともできます。この場合は、尿を採取して検査することになりますが、申し込みをした日に検査を受けることができますので、不安な方はぜひ一度受けてみてはいかがでしょうか。

6月の救急医療機関

	外科休日当番医 (8:30～翌8:30)	歯科休日当番医 (9:00～12:00)	電話番号	住所
2日	市立病院	東鶉歯科診療所	0125-62-3368	上砂川町字鶉 323-4
9日	市立病院	みやこし歯科診療所	0125-75-5330	滝川市江部乙町東 12丁目 1-4
16日	滝川脳神経外科	森歯科医院	0125-52-2789	砂川市西 1条南 11丁目 2-3
23日	市立病院	おおさき歯科	0124-23-0648	芦別市北 1条東 1丁目 7-17
30日	滝川脳神経外科	Eデンタルクリニック	0125-24-9469	滝川市緑町 1丁目 5-23

※市立病院…Tel 22-4311/ 大町 2丁目 2-34 滝川脳神経外科…Tel 22-0250/ 西町 1丁目 2-5
休日の内科・小児科の診療は市立病院で受け付けます (8:30～翌8:30)。

平日の時間外診療の協力医療機関については当番病院案内ダイヤル (Tel 22-2299) でお知らせします。